

スルタック乳剤が効かない

イネばか苗病菌について

病害虫管理部



1. 背景・目的

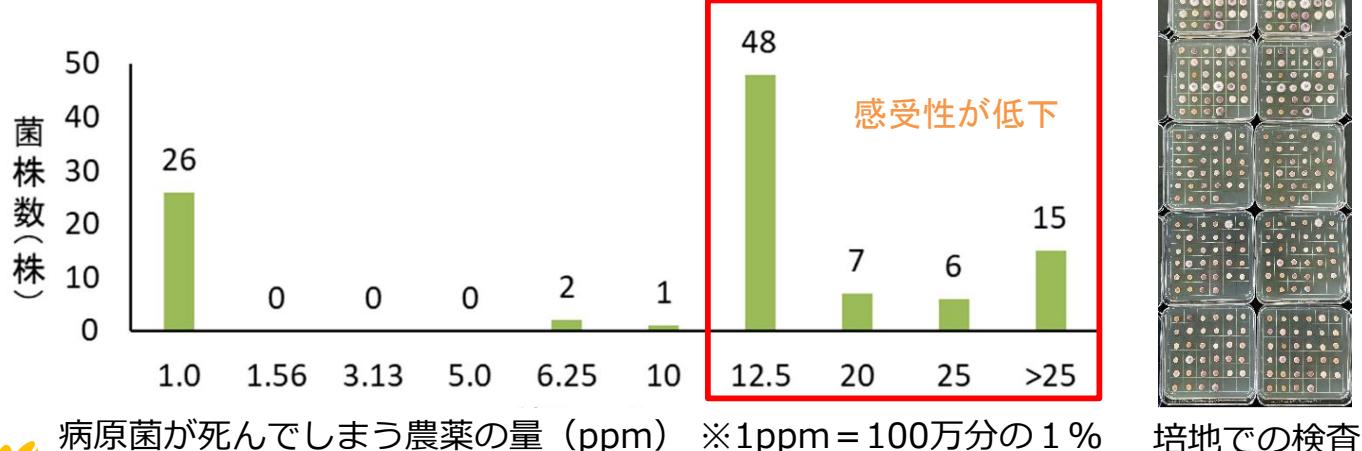
イネばか苗病は、病原菌に汚染された種子で伝染します。農薬を使って種子を消毒することで防除は可能です。しかし、近年、スルタック乳剤を使用した場合に、この病気が発生する事例がみられてきました。

そこで、令和6年に、県内で発生した被害苗から病原菌を取り出して、スルタック乳剤に対する性質と防除効果を調べました。



2. 薬剤を混ぜた培地上で病原菌を育ててみた！

○県内22地点で発生した被害苗から105菌株を取り出し、様々な濃さのスルタック乳剤を混ぜた培地で育ててみると、76菌株（72.4%）で農薬を濃くしないと効きにくくなっている（感受性が低下している）ことが明らかになりました。



3. 病原菌に汚染された種子をつくって農薬で消毒してまいりた！

○感受性が低下した菌では、スルタック乳剤の防除効果が低くなっています。→実際に「効かない」と感じた場合、今後の使用は控えましょう！



無消毒	スルタック 乳剤	テクリードC フロアブル	健全
-----	-------------	-----------------	----



無消毒	スルタック 乳剤	テクリードC フロアブル	健全
-----	-------------	-----------------	----